

栃木県

災害ボランティアセミナー
in 栃木 開催報告

令和2年1月20日（月）、とちぎ生きが
いづくりセンターにて、栃木県と当協会主
催による「災害ボランティアセミナー in 栃木」
が開催されました。

冒頭に主催者を代表して、栃木県県民生
活部の千金楽次長と当協会の下瀬事務局長
が挨拶し、続いて危機管理教育研究所代表
の国崎信江氏による「過去の災害でボラン
ティアに求められたこと〜今後の災害に活か
すために〜」と題する講演が行われました。



危機管理アドバイザーとして、女性や生
活者の視点で家庭、地域、企業の防災・
防犯・事故防止対策を提唱している。文
部科学省「地震調査研究推進本部政策委
員」、東京都「震災復興検討会議委員」な
どを務める他、NHK ラジオマイあさ!
の「暮らしの危機管理」のコーナーやテレ
ビ、新聞などで情報提供を行っている。

講演 13:40〜14:40
過去の災害でボランティアに求めら
れたこと
〜今後の災害に活かすために〜

危機管理教育研究所代表 国崎 信江氏

開催地宇都宮市のハザードマップ、地震
被害想定、医科救護所設置場所の情報提供
をする一方、いざという時に、何が必要か
を解説された。大災害時は、県内のボラン
ティアがまず先に駆け付ける。そのためには、
被災者にならずにおくには何を準備するべき
かを常に考えておく必要がある。つまり、
自分の命、暮らしは自分で守るという前提
が重要との話であった。

講演 14:50〜15:50
大規模災害から学ぶ
災害ボランティアのあり方

特定非営利活動法人岡山NPOセンター

代表理事 石原達也氏

2018年7月豪雨における岡山県内災
害現場のボランティア活動や被災者・被災
現場の想像以上に苦しい生活・居住環境に
ついて具体的に説明された。続いて、災害
時におけるNPOと自治体との連携につい
て、具体的な実務面を含めて終始説得力の
ある内容であった。

民間あるいはNPOとして行えることとし
て、スマートサプライやクラウドファンディ
ングなど、ノウハウ的な部分の情報提供も
あった。



平成13年に大学生のみのNPO法人設立
に参画したことを契機にNPO業界に入る。
活動を続ける中で支援者を志すよう
になり、平成15年に鳥取市社会福祉協
議会に入職。ボランティアコーディネー
ターを務めた後に転職し、出身地・岡山
でNPO法人岡山NPOセンター事務局長
に就任。現在、代表理事。